■源氏鶏太　　作家。"サラリーマン小説"で一時代を画した。
げんじけいた
明治天皇没・1912＝　　生。富山で置き薬売りの子に生まれる。7人兄弟の末っ子。本名田中富雄。

家庭は豊かではなく，兄・姉たちとは年がはなれており，物心つく頃には，兄・姉たちは家を出ていたため，母と二人暮し。

原敬首相暗殺1921＝ **9歳：**

富山商業学校時代は，中山輝に師事して詩を書く。品行方正で人望もあって，聖人と呼ばれていたが，

海軍軍縮条約1930**＝18歳：**卒業直前，校則の厳しさに反発した学生達がストライキを決行しようしたのに反対して，同級生からは白い目で見られたという。卒業し，大阪の住友合資会社に入社。
満州事変・・1931＝19歳：
先に大阪に住んでいて文学青年だった長兄の影響で，小説を書くようになり，副収入も兼ねて様々な雑誌の懸賞小説に応募。
帝人疑獄事件1934＝22歳：「村の代表選手」が報知新聞のユーモア小説を受賞し，初めて活字になる。
{婦人公論}が ' 女性に限る'として詩を募集した時は，偽った女性名のペンネームで応募し，入選したこともあなど，この頃は，投稿のたびにペンネームをかえていたが，"源氏鶏太"も一度，使用している。平家より源氏が，また鶏という字が好きだったからという。
日中戦争始・1937＝25歳：住友合資会社が住友本社に改組され，
第二次大戦始1939**＝27歳：**
日米開戦・・1941＝29歳：
経理課長代理まで昇進したが，

年金+総武装 1944＝32歳：海軍に召集され，舞鶴防衛隊に配置される。のち，無線教育を受け，
敗戦・・・・1945＝33歳：特設駆潜艇第七富久川丸に電探兵として乗り込み，終戦を迎える。戦後の財閥解体時は，GHQからの指示で，住友本社の清算事務を担当。その後は，泉不動産(住友不動産)で総務部次長を務め，サラリーマン時代はずっと経理畑を歩み，後に作家専業になった際に，日本文芸家協会の経理担当を長らく勤めることになる。
_住友の大先輩の重役の川田順から励まされ，さらに本腰を入れ，ペンネームも源氏鶏太に固定して，
新憲法施行・1947＝35歳：{オール讀物}に，短編「たばこ娘」を発表。
極東裁判決・1948**＝36歳：**{大阪新聞}に初の長編「女炎なすべし」を連載し，初の単行本としても刊行される。宇野千代が社長だったスタイル社が創刊した雑誌に，***初の"サラリーマン小説"である「浮気の旅」を発表すると，好評で，日本文芸家協会編の{現代小説選集}にも収録されたことから，以後，サラリーマン小説を書き続けるようになる。**
朝鮮戦争始・1950＝38歳：**_サラリーマン小説「随行さん」「目録さん」「木石にあらず」で，直木賞候補になり，**
独立回復・・1951＝39歳：***「英語屋さん」他で第25回直木賞を受賞。以降も，ユーモアあるれるサラリーマン物の小説を多数発表し，"サラリーマン小説の第一人者"と呼ばれ，「ホープさん」「初恋物語」以降，大半が映画化またはドラマ化される。特にGHQにより戦前よりの会社の重役陣が退社させされ，本来重役になるべきではない人物たちがサラリーマン重役になったという連作短編集「三等重役」は，その言葉自体を流行させるほどの反響を呼び，**
ﾒｰﾃﾞｰ事件・ 1952＝40歳：**_{東宝}により映画化され，大ヒット。以後"社長シリーズ"となって{東宝}のドル箱となる。「向日葵娘」，**
ﾃﾚﾋﾞ放送始・1953＝41歳：「幸福さん」「鶏太ざんげ録」「明日は日曜日」，
自衛隊発足・1954＝42歳：「丸ビル乙女」「火の誘惑」「英語屋さん」，
55年体制始・1955＝43歳：「坊つちやん社員」「奥様多忙」「鬼の居ぬ間」「春風駘蕩」。「七人の孫」はテレビドラマ化されて人気を博す。
国連加盟・・1956＝44歳：「見事な娘」「天上大風」「大安吉日」。**_作家に専念するため，勤続25年目で会社を退職。**
なべ底不況・1957**＝45歳：**「青春をわれらに」「たばこ娘」「青空娘」「重役の椅子」，**_「源氏鶏太作品集」，**
ｲﾝｽﾀﾝﾄﾗｰﾒﾝ・1958＝46歳：「鏡」。**_直木賞選考委員。**
美智子妃・・1959＝47歳：「最高殊勲夫人」「大願成就」「新・三等重役」「麗しきオールド・ミス」，**_「源氏鶏太青春小説選集」，**
安保闘争・・1960＝48歳：「天下を取る」「若い仲間」
ｲﾀｲﾀｲ病始・1961＝49歳：「天下泰平」「青年の椅子」「堂々たる人生」。**_{東宝}の監査役に就任。{婦人公論}に連載の「御身」では，当時の独身男女の"恋愛至上主義"を鋭く批判。**
全国総合計画1962＝50歳：「昨日・今日・明日」「男性無用」「御身」「男と女の世の中」「悲喜交々」，
TV宇宙中継始1963＝51歳：「停年退職」「二十四歳の憂鬱」「東京一淋しい男」。**_「源氏鶏太自選作品集」，**
東京ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ 1964＝52歳：「流れる雲」「銀座立志伝」，
大学紛争始・1965＝53歳：「意気に感ず」。**_「源氏鶏太全集」全43巻，**
いざなぎ景気1966**＝54歳：**「女の顔」「若い海」「ボタンとハンカチ」「人生感あり」，
美濃部都知事1967＝55歳：「天上天下」「東京物語」，
霞ヶ関ﾋﾞﾙ・ 1968＝56歳：「夫婦の設計」「掌の中の卵」。***「口紅と鏡」「幽霊になった男」で第5回吉川英治文学賞。**
戦争中に海軍に所属していたことから，池島信平らが創設した「文人海軍の会」の会員にになる一方，**_それまでの作品に物足りなさを感じて，ブラック・ユーモアを志向し，"怪談系の小説"を多く発表し始め，**
全共闘ﾋﾟｰｸ・1969＝57歳：「歌なきものの歌」「他人の女房」，
大阪万博・・1970＝58歳：「幽霊になった男」「口紅と鏡」が刊行，
日中国交回復1972＝60歳：「ずこいきり」「艶めいた遺産」，
石油ショック1973＝61歳：
角栄金脈辞任1974＝62歳：「東京の幽霊」，
ｸｱﾗﾝﾌﾟｰﾙ事件1975**＝63歳：**「怨と艶」「時計台の文字盤」「私にはかまわないで」。**_紫綬褒章を受け，「わが文壇的自叙伝」を書く。**
JALﾊｲｼﾞｬｯｸ・1977＝65歳：「永遠の眠りに眠らしめよ」，
革新大敗北・1979＝67歳：「招かれざる仲間たち」，
中曽根内閣・1982＝70歳：「わたしの人生案内」「日日哀歓」「肝大なり」。**_勲三等瑞宝章。**
・・・・・・1984**＝72歳：**
ｼﾞｬﾝﾎﾞ機墜落1985＝73歳：**_没した。**

インターネットWikipedia，